豊田工業高等専門学校	開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	ファシリティマネジメント

科目基礎情報

科目番号	94026	科目区分	専門 / 選択
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	建設工学専攻A	対象学年	専1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	「ファシリティマネジメントの実際－施設を活かす総合戦略」（丸善）／「ファシリティマネジメントガイドブック」（日刊工業新聞社）、適宜資料等を閲覧・配布		
担当教員	竹下 純治		

到達目標

(ア)ＦＭの概要と目的について理解している。
(イ)ＦＭに関する主要な用語とその内容に関する知識を有している。
(ウ)建築計画とＦＭとの関係について理解している。
(エ)施設評価の手法について理解し、実践的知識を身につけている。
(オ)作成したレポートの内容は、密度の高い考察に基づくものであり、発表は的確に情報を伝えるものである。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準の到達レベルの目安(可)	未到達レベルの目安
評価項目(ア)	ＦＭの概要と目的について正しく理解している。	ＦＭの概要と目的について理解している。	ＦＭの概要と目的について理解していない。
評価項目(イ)	ＦＭに関する主要な用語とその内容に関する知識を十分に有している。	ＦＭに関する主要な用語とその内容に関する知識を有している。	ＦＭに関する主要な用語とその内容に関する知識を有していない。
評価項目(ウ)	建築計画とＦＭとの関係について正しく理解している。	建築計画とＦＭとの関係について理解している。	建築計画とＦＭとの関係について理解していない。
評価項目(エ)	施設評価の手法について理解し、実践的知識を十分に身につけている。	施設評価の手法について理解し、実践的知識を身につけている。	施設評価の手法について理解し、実践的知識を身につけていない。
評価項目(オ)	作成したレポートの内容は、密度の高い考察に基づくものであり、発表は的確に情報を伝えるものである。	作成したレポートの内容は、考察に基づくものであり、発表は必要な情報を伝えるものである。	作成したレポートの内容は、考察に基づくものではなく、発表は必要な情報を伝えるものではない。

学科の到達目標項目との関係

学習・教育到達度目標 B3 建築分野の実社会に必要で役立つ知識や技術を応用して問題を解決する能力を修得する。
JABEE d 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
本校教育目標 ② 基礎学力

教育方法等

概要	この科目は企業で建築設計を担当していた教員が、その経験を活かし、建築物の施設のマネジメントや評価方法等について演習形式で授業を行うものである。ファシリティマネジメント（以下ＦＭ）の概略と役割について学ぶとともに、特に建築系の分野で重要な役割を担う施設評価と施設管理のＦＭについて学ぶ。また、ＦＭに求められる施設評価方法について具体的事例を参考にして理解するとともに、分析手法を用いてシミュレーション（分析レポート作成）を行い、実践的知識と技術を習得する。さらに、情報化時代のＦＭについて導入施設あるいは手法の事例をとりあげ、今後のＦＭの動向、社会のニーズへの対応について議論し検証する。
授業の進め方・方法	
注意点	（自学自習内容）授業内容に該当する項目について､科目担当教員の薦める文献等で予め調べてくること。 （自学自習内容）授業後に必ず復習し、学習内容の理解を深めること。 （自学自習内容）課題レポートについて資料を配布し説明する。期日までに調査・執筆し提出すること。

選択必修の種別・旧カリ科目名

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	ガイダンス（授業の概要、スケジュール、課題について説明）	上記（ア）
		2週	ＦＭの基本概念（復習：FMとは何かを予測する）	上記（ア）（イ）
		3週	ＦＭの基本概念（復習：FMの定義）	上記（ア）（イ）
		4週	経営戦略とＦＭ	上記（ウ）
		5週	経営戦略とＦＭ	上記（ウ）
		6週	ＦＭの機能と手法	上記（ウ）
		7週	ＦＭの機能と手法（αの実測と計算）	上記（ウ）
		8週	ＦＭの機能と手法	上記（エ）
	4thQ	9週	ＦＭの機能と手法	上記（エ）
		10週	各種施設のＦＭ（課題：POE分析-調査対象の選定､アンケート項目の作成､分析方法の検討）	上記（エ）（オ）
		11週	各種施設のＦＭ（課題：POE分析-調査対象の選定､アンケート項目の作成､分析方法の検討）	上記（エ）（オ）
		12週	施設評価とＦＭ（課題：POE分析-調査実施､データベース作成､分析､レポート作成，プレゼンテーション作成）	上記（エ）（オ）
		13週	施設評価とＦＭ（課題：POE分析-調査実施､データベース作成､分析､レポート作成，プレゼンテーション作成）	上記（エ）（オ）
		14週	施設評価とＦＭ（課題：POE分析-調査実施､データベース作成､分析､レポート作成，プレゼンテーション作成）	上記（エ）（オ）

		15週	施設評価とＦＭ（課題：POE分析-調査実施、データベース作成、分析、レポート作成，プレゼンテーション作成）	上記（エ）（オ）
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	定期試験	レポート	レポート発表	合計
総合評価割合	60	30	10	100
専門的能力	60	30	10	100